

## 令和7年度 第1回子ども部会 議事録

日時：令和7年9月5日（金） 10：30 ～ 12：00

場所：アマホームプラザ 大多目的室

参加者：森（nYokki）、岡村（あすなろ）、大山（あんだんて）、福田（にこぴあ）、麓、濱田（のぞみ園）、泰、吉田、石橋（みらいはうす）、前田（愛かな）、星村、最上、田代、平（スターズ）、福原、大茂（聖隷かがやき）、津田（ハートリハ龍郷）、與（CSA）、大海（相支：のぞみ園）、勝田（相支：聖隷かがやき）、富田（ていだ）、田中（奄美市教委）、増永（特別支援学校）、柳田（大島北高校）、豊倉、塩屋（名瀬保健所）、安田（奄美市福祉政策課）、林（奄美市健康増進課）、南、染川（龍郷町子ども子育て応援課）、福崎、恵島、向井（ぴあリンク奄美）  
リモート：渡（ここ園）、らしく（大野）、原、印南（療育センター）、山畑、阪本（瀬戸内町保健福祉課）

※敬称略 参加者：39名



### 1.参加者自己紹介

### 2.報告/情報提供

#### ①事務局より（※別紙資料参照）

○令和6年度振返り及び令和7年度計画について

#### ②県療育等支援事業の説明

### 3.グループワーク

#### 議題：奄美地区の子どもの支援に関わる方が感じている課題について

○早い段階でつながるために

⇒療育の認識を広めるために見学会の開催などを行ってほしい。

療育に対するイメージ（楽しいところ）という認識を広めたい。

⇒親子教室への繋ぎに難しさがある。

地域特性や親子教室に行くことはおかしいという考えを持つ親族がいることもある。

⇒保護者がわざわざ出向く必要のない場所（保育所など）で専門的な相談を受けられれば。  
過去にあった（やちやぼう相談）などがよい例。

よい意味で療育へのハードルが低くなっていくのではないか。

#### ○保育所等訪問支援について

⇒訪問先への最初の理解へのハードルの高さを感じている。

⇒訪問前段階の説明が重要。パンフレットを活用していく。

⇒学校側としては療育側とのかかわりにストレスを感じている部分が少なからずある様子。

#### ○地域資源について

⇒地域とのつながりは重要。イベント等開催時には地域の方に声掛けをしている。

#### ○学校との連携及び情報共有

⇒民間では持っている情報に限りがある。行政主導で場の設定を行ってみては。

⇒中学進学時の支援は就学時と比べると手薄？

⇒学校・行政・民間事業所が集まる場の設定を各市町村でも行えたら。

龍郷町独自の（龍郷支援 net）町内の療育事業所や教育関係が情報交換できる場として有効。

#### ○本人支援/家族支援

⇒家族と本人の思いのズレに対し、各関係機関で連携をとり役割分担することが重要。

各関係機関の強みを生かしてチーム支援すること

まず保護者に納得してもらうために、ハードルを低いところに持って行くことも一つの手。

⇒保護者への肯定的な声かけから始め、関係性を築いていく

⇒風通し良くつなげていくために、ペアレントプログラムや親子教室など

様々な資源を活用することも有効。

#### ○発達検査について

⇒好事例を集めて、共有できる場があるとよい。

⇒発達検査についてフローチャートを作成してみては。

【1G】



【2G】



【3G】



【4G】



【5G】



【6G】



【7G】



【オンライン】



#### 4. その他

##### ○第1回そだサポ勉強会

- ・令和7年9月19日（金） オンライン

##### ○北部地区子ども支援 net の開催について

- ・令和7年10月24日（金） 龍郷町役場2階会議室